

ほうこん

題字・清水英夫

GALAC・8月号・付録
2016年8月6日発行（毎月1回6日発行）
昭和43年3月8日第三種郵便物許可
〒160-0022
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F
NPO法人放送批評懇談会
TEL (03) 5379-5521 / FAX (03) 5379-5510
ホームページ <http://www.houkon.jp/>
Eメール kondankai@houkon.jp
編集・藤田真文

第12回通常総会開催 事業報告、決算、 事業計画、予算承認

◆NPO法人放送批評懇談会

第12回通常総会報告

6月26日（日）午後2時40分からNPO法人放送批評懇談会の第12回（2016年度）通常総会をTKPカンファレンスセンター カンファレンスルーム6Bで開催した。出席者は30名、委任状提出者は93名で、合わせて123名となり、当会正会員197名の2分の1を上まわり、総会は成立した。

審議の概要は以下の通りである。

第1号議案（議長の選任）

出席正会員の信井文夫氏が推薦され選任された。

第2号議案（2015年度事業報告）

総務、出版編集、選奨表彰、企画開催、マイベストTV賞の5つの項目ごとに委員長、担当者から報告があり、拍手で承認された。

第3号議案（2015年度収支

決算）

事務局長より2015年度の決算案と特別会計決算案が報告された。

2015年度は収入が予算を上回り、費用の節減に努力して約610万円の黒字となった。

限部紀生監事より ①監査の結果、決算報告は適正である。②全体的に適切に運営されていたとの報告があった。議案は拍手で承認された。

第4号議案（第12期、13期役員）

定款第14条1項にしたがって、理事会準備会で作成された第12期、13期の理事候補者25名が提案され、賛成多数で承認された。ここで総会を一時中断して、新しく選任された理事による第1回理事会を開いて、互選、指名によって理事長をはじめ、理事の役職を決めた。監事は引き続き限部紀生氏、鈴木

典之氏にお願いすることとし、総会を再開して新役員が承認された。

*新役員は別掲の通り。

第5号議案（2016年度事業計画）

各委員長、担当者より新年度の実業計画が提案され、承認された。

第6号議案（2016年収支予算）

事務局長より、総額8830万円の予算案を説明、提案し、拍手で承認された。

マイベストTV賞刷新、ギャラクシー賞エントリーデジタル化の特別会計の予算案を説明、提案し、承認された。

この後、総会議事録に議長と共に署名する議事録署名人2人を選任して午後4時40分に総会を終了した。

◆6月理事会報告

6月26日総会に先立って6月理事会を開催した。

1. 総会議案の承認

総会に提案する議案について審議した。

決算案、事業報告、事業計画案、予算案について、各事業担当の委

員長、担当者からの説明があり、総会への提出を承認した。

2. 委員会活動報告

◇出版事業委員会 飯田委員長

・9月号の特集は「放送コンテンツの海外進出」。

・8月号のザ・パースンの高市早苗総務大臣の記事の出来上がりについて質問があり、飯田委員長から総務省側の一方的な宣伝とならないように配慮したとの回答があった。

◇選奨事業委員会

〈テレビ委員会〉丹羽委員長

・27日に6月度の月評会を開催予定。

〈ラジオ委員会〉橋本委員長

・21日に定例会を開催して文化放送とJ-WAVEの番組を聴取した。

・「入賞作品を聴いて、制作者と語

り合う会」を7月24日(日)TBSセミナー室で開催する予定。

〈CM委員会〉稗田委員長

・6月23日に定例会を開催して28本のCMについて話し合った。

〈報道活動委員会〉鈴木委員長

・丹羽次期委員長と引継ぎを行った。

◇企画事業委員会 川喜田委員長

15日に委員会を開催した。9月開催のセミナーのタイトルは「新しいメディアとしてのラジオ」。TBSラジオの入江社長とSTVラジオの大

西社長の出演を予定している。

◇マイベストTV賞プロジェクト

滝野プロジェクトリーダー

6月24日現在、Gメンバー会員は318名になった。

3. その他

①正会員入会・退会の件

〈入会〉石井裕一郎さん、伊藤友治さん、大澤恒夫さん、大谷知史さん、小泉世津子さん、小林浩子さん、松崎泰弘さん、

〈退会〉津田浩司さん、ラリー遠田さん

②マイベストTV賞プロジェクト組織変更について

藤田専務理事より現在、マイベストTV賞プロジェクトはマイベストTV賞運営とGメンバーの管理を行っているが、今後、会の外との事業を展開していくために広報委員会に変更したいとの提案があり、これについて討議。討議の結果、マイベストTV賞プロジェクトを広報委員会とする方向を確認した。細則条項の変更が生じるため、次期理事会で検討審議して手続きを進める。

◆次回以降の理事会

7月26日(火)、9月29日(木)

【出席】音好宏、橋本隆、藤田真文、川喜田尚、飯田みか、丹羽美之、藤久ミネ、稗田政憲、鈴木嘉一、滝野俊一、市村元、碓井広義、上滝徹也、小林毅、坂本衛、桜井聖子、嶋田親一、古川柳子、水島宏明、中島好登

第12期、第13期役員

理事長 音好宏
副理事長 橋本隆
(選奨事業委員会
ラジオ部門委員長)

専務理事 藤田真文 (総務担当)

常務理事 藤久ミネ
川喜田尚
(企画事業委員長)
丹羽美之
(選奨事業委員会
報道活動部門委員長)

理事 水島宏明
(出版編集委員長)
稗田政憲
(選奨事業委員長兼
CM部門委員長)

出田幸彦
(選奨事業委員会
テレビ部門委員長)

滝野俊一
(マイベストTV賞
プロジェクトリーダー)

市村元 入江たのし
岩根彰子 茅原良平
五井千鶴子 上滝徹也
小林毅 坂本衛
桜井聖子 嶋田親一
鈴木健司 鈴木嘉一
桧山珠美 山田健太
中島好登 (事務局長)

監事 隈部紀生 鈴木典之

【退任】

理事・飯田みか、石井彰、碓井広義、
小田桐誠、古川柳子

ギャラクシー賞贈賞式はこう伝えられた

大弦小弦

「何度の『その』でもない番組を作ったがった」。優れた放送番組やCMなどを顕彰するギャラクシー賞の授賞式が2日都内であった。その中である受賞者のコメントに、会場がわいた▼「解散の『か』の字も考えていない」。この「最近はやりの文句のように繰り返して伝えられていた政界のフレーズを、皮肉たっぷりにもじつたのが冒頭のコメントである▼放送界への監督権を振りかざす政権側を意識してか、政治が過敏になるようなテーマにテレビ側が及び腰との認識が広がっている。それだけに政権の意向を気にしない番組づくりへの気概が示されたことに、会場の賞司が示されたようであった▼テレビ部門大賞は、テレビ朝日の報道ステーションの二つの特集であった。「アベノミクス」に「憲法改正」をテーマにした後者では、ヒトラーがワイマル憲法下で合法的に独裁政権を構築した経緯をリポート、現在の改憲の動きを暗示した▼視聴者から好評だったという。スタッフは「放送界は窮屈になりつつある」と現状への危機感を隠さず、だが「受賞は、そういう番組作りを続ける励みになる」と奮起をみせた▼テレビは報じるべきを報じているのか。疑念を拭い去るには、果敢な努力が必要となろう。現場の気概が詰まった報道番組をもっと見たい。会場出るときの心は躍っていた。(高城英作)

＜2016-6-3＞

沖繩タイムズ 6月3日

ギャラクシー賞

政権批判 意地見せた番組の受賞 相次ぐ

安倍政権の政策を批判的に検証したテレビ朝日系「報道ステーション」の番組が、放送業界で権威のあるギャラクシー賞の大賞に選ばれた。政治報道の自粛・萎縮が懸念されるテレビ各局へのエールなのか。(鈴木伸幸)

「報ステ」2つの特集

「クロ現」国谷裕子さん

一日発表された第五十三回ギャラクシー賞のテレビ部門大賞は、報ステで今年三月に放送された二つの特集「ノーベル賞経済学者が見た日本」と「独ワイマル憲法の『教訓』」。

一つ目は、安倍晋三首相に「消費税増税の再延期」を建言したとされるノーベル賞学者に独自取材。学者がアベノミクスを疑問視し、税制改革を主張していたことを明らかにした。二つ目は、ヒトラーがワイマル憲法の国家緊急権を悪用して独裁政権を築いた経緯をメインキャスターの古

テレビ自粛ムードに一石?



⑤第53回ギャラクシー賞の贈賞式で、テレビ部門の大賞に選ばれたキャスターの国谷裕子さん。特別賞に選ばれたキャスターの国谷裕子さんも、いずれも2日午後、東京都内のホテルで。

送レポート」編集長の岩崎貞明氏は「安倍政権に対して『これでいいのか』と問いかけたことが評価されたのだろう。『こんな番組をもっと作る』という同業者への叱咤でもある」と推察する。

NHK「クロソアアップ現代」で長くキャスターを務めた国谷裕子氏がテレビ部門特別賞に輝いたことも、今回のギャラクシー賞のメッセージ性をうかがわせる。

国谷氏の選出理由は「スタジオでのインタビュが見どころのクロソアアップ現代のキャスターを二十三年間務めた功績」と当りたり障りのないのだが、国谷氏と言えば、普義偉官房長官が出演した際、集団的自衛権の行使容認などについて厳しい質問を浴びせたことが記憶に残る。

そんな古館氏と国谷氏は今春、そろって番組を降板したはずで、選考側の見識に拍手を送りたい。

「エース」の追跡

東京新聞 6月4日

琉球放送に優秀賞 第53回ギャラクシー賞



ギャラクシー賞報道活動部門で優秀賞のトロフィーを受けた琉球放送報道制作部の野沢チーフ＝2日、セルリアンタワー東急ホテル

戦後70年企画が評価

【東京】優れた放送番組・放送文化に貢献した個人・団体を表彰する第53回ギャラクシー賞（放送批評懇談会主催）の授賞式が2日、都内のホテルであった。報道活動部門で琉球放送の戦後70年の地平から」が優秀賞に選ばれ、同社報道制作部の野沢岡チーフが表彰を受けた。

同企画は昨年3月から半年まで50回のシリーズ。戦争体験者の証言や若い語り部の姿を追い、戦争の記憶をより引き継いでいくかの課題に迫った。

同部門には30作の応募があった。選考委員は「地域密着した息の長い活動に評価が集まった」と評した。野

東京新聞 6月3日

報ステ特集に大賞
国谷さんに特別賞
ギャラクシー賞

優れた放送番組などに贈られる（第53回ギャラクシー賞）が2日発表され、テレビ部門の大賞はテレビ朝日「報道ステーション」の「特集 独ワイメール恋」が選ばれた。特別賞は今年三月までNHK「クローズアップ現代」の「キヤスターを三十二年間務めた岡谷裕子さん」写真」が選ばれた。

授賞式で国谷さんは「報道番組として問われなければならないといけない、トビックスに向き合う時は心が奮い立ち、二十三年間、心が休まることほなかった」とあいさつした。



授賞式で国谷さんは「報道番組として問われなければならないといけない、トビックスに向き合う時は心が奮い立ち、二十三年間、心が休まることほなかった」とあいさつした。

次さんは「沖縄について視察者と考え、伝えていくことに向かっていたという意識だった。今後具体的な取り組みにつながっていく」と話した。主な大賞は次の通り。

【テレビ部門】テレビ朝日「報道ステーション」特集「ノベル経済学者が見た日本」(特集「独ワイメール恋法の教訓」)「報道活動部門」山陽放送「BSKスペシャル」九州朝日放送「憲法で巡る日本の旅」(CM部門)「KTRU」三太郎(ラジオ)

沖縄タイムス 6月3日

遠藤憲一『民王』でギャラクシー賞受賞 “息子”菅田将暉も祝福

遠藤憲一 俳優 テレビ朝日 ドラマ アワード

放送文化の向上に貢献した番組や個人・団体を表彰する放送批評懇談会『第53回ギャラクシー賞』贈賞式が2日、都内で行われ、俳優の遠藤憲一が個人賞として表彰された。テレビ朝日『民王』、BS日テレ『佐武と市捕物控』、関西テレビ『お義父さんと呼ばせて』など幅広い役柄が評価され受賞。遠藤は「薬は気の弱い男。こんな顔してやるけど逆ですからね」と笑わせた。



◎拡大写真
『第53回ギャラクシー賞』贈賞式に出席した遠藤憲一 (C) ORICON News Inc.

贈賞式では、サプライズとして『民王』で息子役を演じた俳優・菅田将暉からビデオメッセージが上映。ビデオを自分でセットして、しばらく笑顔のまま無言で動かない菅田に壇上の遠藤が「なんだ、この間は！」とツッコむなど離れていても思ったり。



◎拡大写真
お祝いコメントを書いた『民王』息子役の菅田将暉 (C) ORICON News Inc.

菅田は「遠藤さんのお芝居はどこまでが本気かわからない。一見むちゃくちゃに見えて、柔軟さ、破壊力のある遠藤さんのお芝居が大好き」と尊敬を表し「また遠藤さんとがっつりコンビを組んでお芝居できるように頑張ります」と再共演を熱望した。



◎拡大写真
菅田将暉も出席 (C) ORICON News Inc.

これに遠藤は「菅田くんは本当にこの一年、大活躍。菅田くんがもらった方がふさわしいのでは…」と恐縮。ドラマでは性格の入れ替わる親子として、遠藤が政治家の父・武藤泰山、菅田が気弱な大学生の息子・翔を演じたが「菅田くんが(泰山を)どうやるか心配だったけど俺より親子じゃんという演技をみせてくれた」と講えた。

ギャラクシー賞 テレビ朝日「報道ステーション」特集



九州朝日放送「憲法で巡る日本の旅」



「TVer」にフロンティア賞

放送批評懇談会主催された。テレビ、ラジオ、報に就いた放送の功を命する第53回ギャラクシー賞の授賞式が2日、都内で行われ、俳優の遠藤憲一が個人賞として表彰された。テレビ朝日「報道ステーション」の「特集 独ワイメール恋」が選ばれた。特別賞は今年三月までNHK「クローズアップ現代」の「キヤスターを三十二年間務めた岡谷裕子さん」写真」が選ばれた。

最優秀賞 民放が独占

今年も番組「クローズアップ現代」が選ばれた。6月3日に放送局「クローズアップ現代」の「キヤスターを三十二年間務めた岡谷裕子さん」写真」が選ばれた。特別賞は今年三月までNHK「クローズアップ現代」の「キヤスターを三十二年間務めた岡谷裕子さん」写真」が選ばれた。

うし特集をれから放した。報道活動部門の大賞は、NHK「クローズアップ現代」の「キヤスターを三十二年間務めた岡谷裕子さん」写真」が選ばれた。特別賞は今年三月までNHK「クローズアップ現代」の「キヤスターを三十二年間務めた岡谷裕子さん」写真」が選ばれた。

第53回ギャラクシー賞 優秀賞

【テレビ部門】
▶NHK-EV特集「書きかえられた“沖縄戦-国家と戦死者-知られざる記録」▶日本テレビ「NNNドキュメント15 シリーズ戦後70年「南京事件 兵士たちの遺言」▶テレビ東京「家、ついて行ってイイですか？」
【ラジオ部門】
▶中国放送「赤ヘル1975」NHK「遠くなる戦争を語り継ぐ-女性ノンフィクション作家の対話」毎日放送「学生に夏休みはない」2015
【報道活動部門】
▶北海道テレビ「子どもが多いほど保育料が値上がりした問題」を追求取材▶琉球放送「戦後70年の地平から」(選奨・奨励賞とCM部門は略)

志賀信夫賞は 山本雅弘さん



志賀信夫賞は山本雅弘さん。放送文化の発展に貢献した個人・団体を表彰する第53回ギャラクシー賞の授賞式が2日、都内で行われ、俳優の遠藤憲一が個人賞として表彰された。テレビ朝日「報道ステーション」の「特集 独ワイメール恋」が選ばれた。特別賞は今年三月までNHK「クローズアップ現代」の「キヤスターを三十二年間務めた岡谷裕子さん」写真」が選ばれた。

民間放送 6月13日